取扱説明書

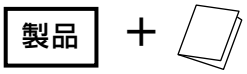
DUAL GAUGE **PRO**

カプラーオンタイプ

エンジン回転＋デジタル **DPT**

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

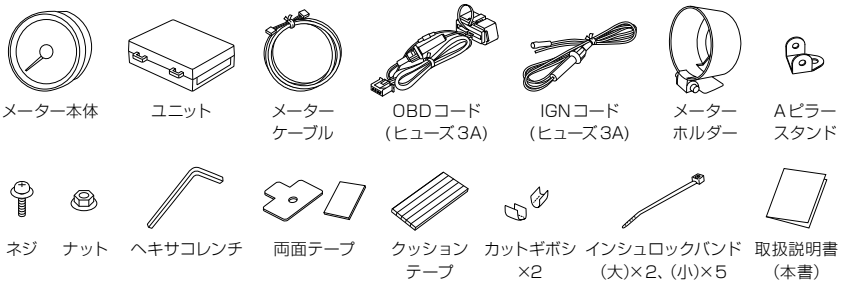
●製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



目 次

セット内容・警告・注意 …… 1
特長 …… 1
各部の名称と表示の種類 …… 2
配線接続方法 …… 2
製品の固定 …… 3
（センサー装着による接続方法） …… 3
基本操作方法 …… 4
表示の切り換え方法 …… 4
照明の切り換え方法 …… 4
照明の明るさ調整 …… 4
故障かな?と思ったら …… 4

内容物をご確認ください



1. ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しない場合があります。
2. 故障診断コネクターを利用する他社の製品とは併用できません。
3. PIVOT製OBD装着製品の併用についての詳細は、こちらをご確認ください。 ⇒ *http://pivotjp.com/obd/*

⚠ 警告

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

●換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。

●コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輌破損の危険があります。

●運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。

●製品の固定、配線処理は確実に行う
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠ 注意

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

●DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。

●装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。

●薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。

●高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。

●ネジ・部品は元の状態に戻す　●まぶしく感じる場所には装着しない

●加工・分解および改造をしない

特 長

幅広い車種に対応する複数の通信システムを搭載したスタンダードモデル。

簡単装着
車内のOBDコネクターにカプラーオンの簡単装着。

デュアル表示
指針とデジタルに複数データを見やすく表示。

ブラックチタンベゼル
高質感のブラックチタンメッキのベゼルを採用。

2色切り換えと3段調光
照明は2色切り換えと、3段調光（デジタルも同時）が可能。

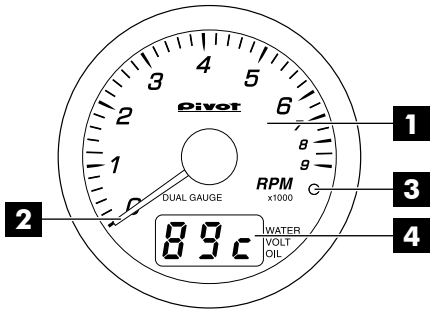
メーターホルダー付属
メーターを様々な場所に設置できるフルカバータイプのホルダーを付属。

ピークホールド
エンジン始動後の各ピークホールド値を表示可能。

センサーも追加可能
サブコン使用やOBDデータがない車種の場合、別売センサーを追加することで正確な表示が可能。

各部の名称と表示の種類

【メーター】



1 アナログ表示部　エンジン回転を表示
2 針　現在の数値やピーク値を表示
3 スイッチ　デジタル部の表示切り換え・ピーク値の表示とリセット
4 デジタル表示部　複数のデータを切り換え表示
5 イルミ（夜間照明）　表示中イルミは常時点灯・3段階調光可能

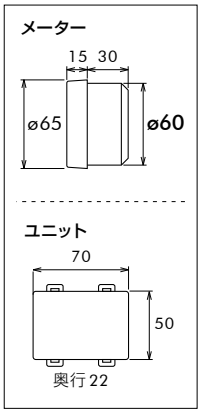
アナログ表示部	文字・針： 白 or 青（切り換え可能）
デジタル表示部	赤

6 表示範囲

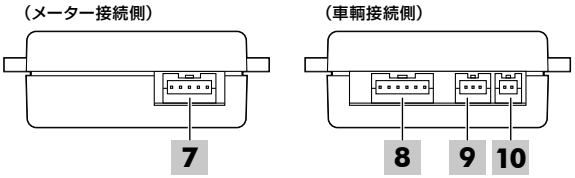
アナログ表示部	**エンジン回転** [0 ～ 9000rpm]
デジタル表示部	**水温** [-35 ～ 150 °C] **電圧** [8V ～ 18V] **油温** [-35 ～ 150 °C] ※

※ 別売センサー接続時

サイズ [単位:mm]



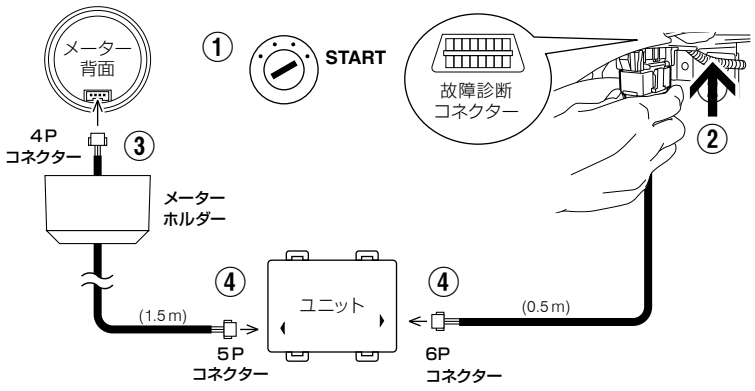
【ユニット】



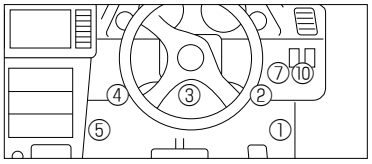
7 メーター用コネクター　メーターケーブルを接続
8 電源用コネクター　OBDコードを接続
9 予備　使用しません
10 油温用コネクター　別売油温センサーを接続

配線接続方法

① エンジンを始動する。
② OBDコネクターを故障診断コネクターに差し込む。
③ メーターケーブルの4Pコネクターをメーター裏面に差し込む。
④ メーターケーブルの5Pコネクターと電源コードの6Pコネクターをユニットへ差し込む。



故障診断コネクター位置図



トヨタ ①②③④⑦	マツダ ②④⑩
ニッサン ①②③④⑤⑦	スバル ②③
ホンダ ②④⑤	スズキ ②④
ミツビシ ②③④⑤	ダイハツ ②③④⑤

① アクセルペダル脇
② 運転席足元右側（フタ付の場合あり）
③ 運転席足元中央
④ 運転席足元左側（フタ付の場合あり）
⑤ センターコンソール右脇
⑦ ステアリング脇パネル裏（フタ付）
⑩ ステアリング右パネル（小物入れ上部）

⚠ 通常は不要ですが、車輌の個体差等でエンジン始動後メーターが作動しない場合は電源をIGNへ接続してください。
⇒下記【電源をIGN接続する場合（通常は不要）】参照

OBDコネクター取扱時の注意点

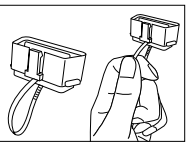
差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。

⚠注意
コネクター抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

凸部を握れない場合

車種によっては、コネクターが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。

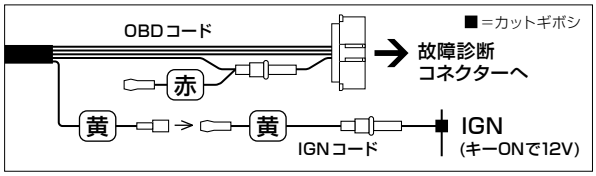
その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。



電源をIGN接続する場合（通常は不要）

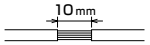
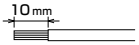
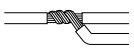
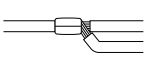
メーターの起動と停止は電源接続方法で異なります。

常時（IGNコード使用なし）	IGN（IGNコード使用）
ECUに連動	キースイッチに連動



●OBDコードの赤と黄コードのコネクターを抜き、黄コードのコネクターにIGNコードを接続し車輌のIGNへ接続。（ACC不可）

カットギボシの使い方

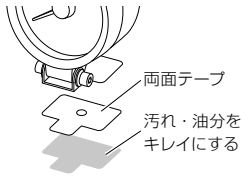
1 	2 	3 	4 	5	
接続するコードの被ふくをむく。	製品コード先端の被ふくをむく。	両方の芯線を絡める。	確実にかしめる。	ビニールテープで絶縁する。	かしめる際は圧着ペンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。

製品の固定

メーターの固定

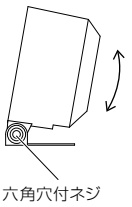
A　メーターホルダーを使用する場合

① メーターホルダーを両面テープで固定する。

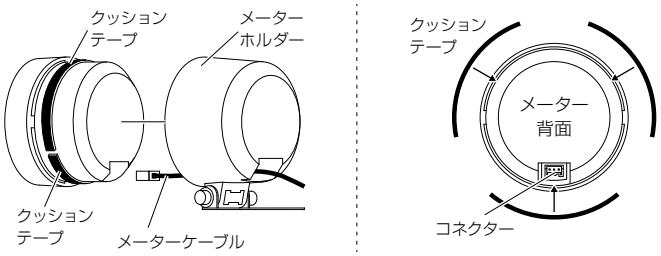


※粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。

② ネジを少しゆるめ、見やすい角度に合わせた後、ネジを締め固定する。

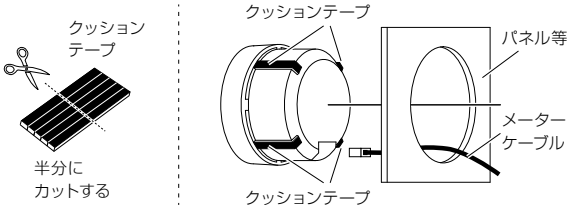


③ メーターにクッションテープを貼りメーターケーブルを接続しメーターホルダーに差し込む。**抜けやすい場合等はクッションテープを追加してください。**



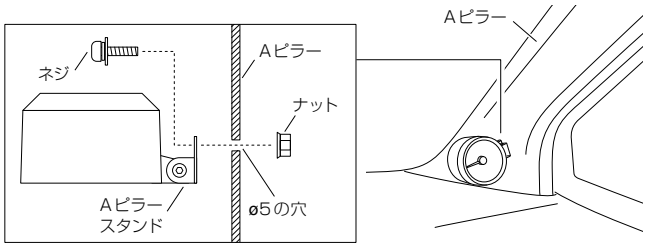
B　パネル等に埋め込む場合

クッションテープを半分にカットし、圧入状態になるように枚数を調整してメーターに貼り、メーターケーブルを接続しパネル等に差し込む。



C　Aピラースタンドを使用してAピラーへ取り付ける場合

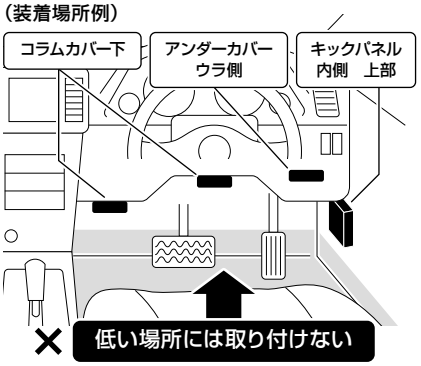
Aピラーの取り付けたい位置にø5の穴を開け、Aピラースタンドを使用しネジとナットで固定します。



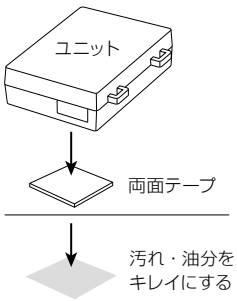
ユニットの固定

右図のような、水のかからない場所に固定してください。

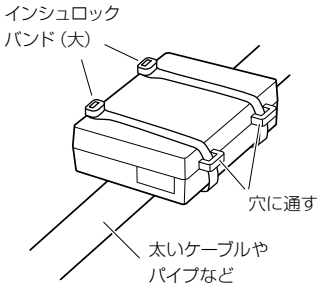
(装着場所例)



平面に固定する



ケーブルやパイプなどに固定する



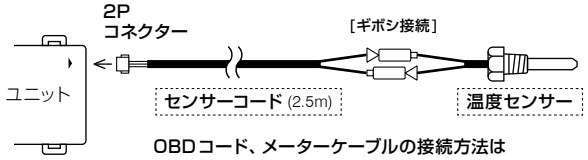
センサー装着による接続方法（通常は不要）　油温のデータ計測をセンサーで行う場合

油温を表示させたい場合は、別売の温度センサー(DTS ¥3,800・税別)を購入し、装着してください。

●温度センサー
(DTS ¥3,800・税別)

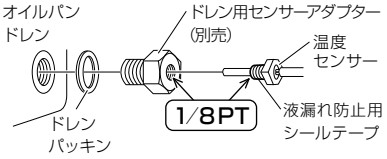
⚠ **温度センサーの装着には、取り付ける場所に応じたセンサーアダプター（センサーネジサイズ1/8PT、市販品可）が必要です。**

※点線内のパーツは別売温度センサー (DTS) の内容物です。

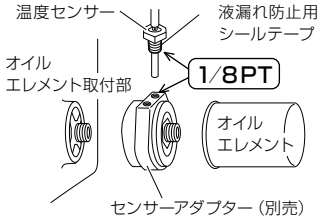


OBDコード、メーターケーブルの接続方法は「配線接続方法」と同じです。

オイルパンのドレンの場合



オイルエレメント取付部の場合



⚠ **センサーやエレメントが下方向に突起する場合は、センサーの位置の変更や、ショートオイルエレメントの使用などで対策を行ってください。**

基本操作方法

1 エンジンを始動する

2 オープニングデモ

3 各表示

4 エンジンを停止する

5 メーター OFF

針は最低値付近で止まります。

オープニングデモ

- ●キー ON時に針の位置を検出するため、もっとも左側の位置へ数回動き、その後最大値を指し、表示項目に移行します。
- ●車輌側との通信の関係上、エンジン始動後オープニングデモまで数秒かかかる場合があります。(IGN接続時は除く)

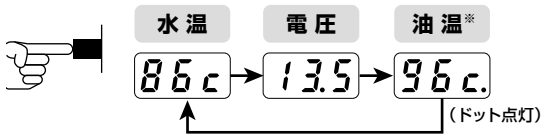
表示部の消灯について

- ●車輌側との通信の関係上、エンジン停止から表示がOFF（消灯）するまで最長1分かかりますが、正常な動作でクルマ側への負担は一切ありません。(IGN接続時は除く)

表示の切り換え方法

デジタル表示の切り換え

メーター作動中、スイッチを押すごとに切り換わる

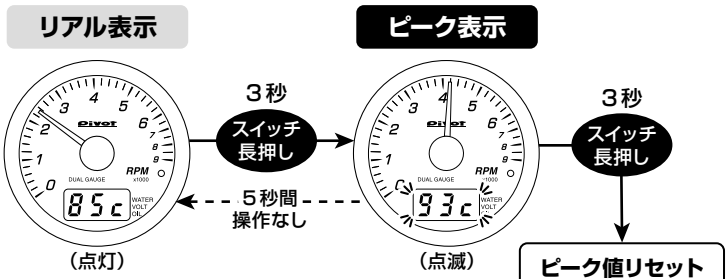


※ 温度センサーを使用しない場合は表示しません。

水温 / 油温表示の見かた

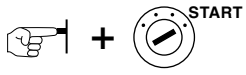
-35～-1℃	0～99℃	100～150℃
左の7セグが - (マイナス)	右の7セグが c	数値のみの表示
- 88	88c	188

ピーク値の表示とリセット



- ●各ピーク値は、キー OFFでリセットされます。
- ●エンジン回転、水温、油温は最高値を、電圧は最低値を表示します。
- ●スターター作動時の下降電圧を確認したい場合は、キーをONにし、デジタル部表示後にスターターを作動させてください。

照明の切り換え方法

1 

メーター消灯時にスイッチを押したままエンジンを始動する

2 現在の照明色の設定がデジタル表示部に表示されたら

c-1 (例＝c-1)

スイッチをはなす

3 スイッチを押すごとに照明色が切り換る

c-1 ↔ c-2

[c-1＝白、c-2＝青]

4 設定を合わせたらスイッチをはなす

5 5秒間操作なしで通常表示に戻る

設定完了

照明の明るさ調整

ドアミラーなどに照明が反射し気になる場合などの調整

1 スイッチ6秒長押し

メーター動作中にスイッチを長押しします

2 3秒後にピーク値、6秒後に現在の明るさを表示

L-3 (例＝L-3)

3 現在の設定が表示されたらスイッチをはなす

4 スイッチを押すごとに明るさが切り換る

L-3 → L-2 → L-1

(High) (Mid) (Low)

5 設定を合わせたらスイッチをはなす

6 5秒間操作なしで通常表示に戻る

設定完了

故障かな?と思ったら

症　状	原　因	対　策
エンジン始動で動作しない。	メーターケーブル / 6Pコネクター / OBD コネクター の接続不良。	再度ご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。
始動時に切り換えたデジタル表示から始まらない。	デジタル表示切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると、設定は記憶されません。3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
オープニングデモ前に針が一瞬動く。	メーターの特性で、異常ではありません。	
表示が純正メーターや他のメーターとズレる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正メーターや他のメーターと誤差が生じる場合があります。	

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。

株式会社ピボット　〒390-0313　長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL0263-46-5901（代）